



みなと八朔まつり Minato Hassaku Festival

300年以上の伝統が息づくこの祭りは、神輿が海に入る神事「浜降り」や町内を練り歩く風流物と呼ばれる豪華絢爛な屋台など見所いっぱいです。



平磯三社祭 Hiraiso Sanja Festival

3年に一度開催される平磯地区の伝統的な祭り。豪華に飾り付けた各町内のひき屋台が練り歩き、おはやしや威勢のいい引手の合いの手が祭りを盛り上げます。



みなと産業祭 Minato Industrial Festival

食と体験を楽しむイベント「みなと産業祭」。旬の魚介類や地元の新鮮な地魚が人気の那珂湊魚市場で、那珂湊焼きそばなどのご当地グルメや水産物販売、漁船体験で楽しいひとときを。

Hitachinaka Event

イベント



人と人をつないでいく



ひたちなか祭り Hitachinaka Festival

昭和通りをメイン会場にバラエティ豊かなイベントが繰り広げられます。1,500人近くの市民がひたちなかソング「素敵に明日のために」に合わせて踊るダンスパレードで祭りは最高潮に。



音楽、食とアートの祭典



ROCK IN JAPAN FESTIVAL

プロからアマチュアまで様々なアーティストたちのパフォーマンスが楽しめるひたちなかは、まさにフェス天国。音楽を通してひたちなかの魅力が全国に広がります。



Lucky Fes



TEENS ROCK IN HITACHINAKA

ひたちなか
フラフェスティバル
Hitachinaka Hula Festival

地元のフラダンス愛好家が共演する大型フラエキシビジョン。海風を感じつつ広大な公園の緑をバックに踊るダンサーたちに魅了されます。



ひたちなか
コーヒーフェスティバル
Hitachinaka Coffee Festival

コーヒー文化の発展と街の活性化を目指し始めたこのイベント。地元だけでなく全国から人気のコーヒーロースターやショップが親水性中央公園に集まります。

にぎわいのまち

勝田全国マラソン Katsuta Marathon

毎年約2万人のランナーが集う全国有数のマラソン大会は開催70回以上の歴史を誇ります。沿道の市民も飲み物や食べ物を用意してエールを送る、市民総合参加型マラソンです。



ひたちなか祭り花火大会
Hitachinaka Festival Fireworks

夏の夜空を
華麗に彩る
三大花火大会

夏から秋にかけて3度楽しめるひたちなかの花火。各打ち上げ場所で特色が異なるのもGood!



那珂湊海上花火大会
Nakaminato Seaside Fireworks Festival



阿ヶ浦海岸花火大会
Ajigaura Seaside Fireworks Festival

ひたちなか市
産業交流フェア
Industrial Fair

見て、触れて、食べて、遊んで秋のひたちなかを大満喫。工業・農業・漁業・飲食店からなる出店(展)数は北関東最大級の規模を誇ります。



Sightseeing

観光

海水浴場

Beach

豊かな自然と アクティビティの宝庫



磯遊び

平磯海水浴場

Hiraiso Beach

堤防に囲まれ波が穏やかなので、家族連れも安心。滑り台の「くじらの大ちゃん」は、子どもたちに大人気です。

阿字ヶ浦海水浴場

Ajigaura Beach

約1.2kmの美しい海岸線を有する海水浴場。波の音をBGMに、お散歩や読書、ビーチヨガなどを楽しめます。フォトジェニックな壁画アートにも注目!

国営ひたち海浜公園 コキア Hitachi Seaside Park (Kochia)

みはらしの丘を彩るコキア。夏の緑色から少しずつ紅葉しはじめ、秋には鮮やかな深紅色に染まる絶景は必見です。



豪華クルーズ船 「ダイヤモンド・プリンセス」 歓迎イベント

The Diamond Princess Luxury Cruise Ship Welcome Event
茨城港常陸那珂港区、中央ふ頭で「ダイヤモンド・プリンセス」の入港歓迎イベントを開催しました。

ひたちなか海浜鉄道湊線

Hitachinaka Seaside Railway Minato Line

のんびり走るローカル感に癒されます

勝田駅から阿字ヶ浦駅まで、計11駅をのんびり走る市民に愛されるローカル線。ひたちなか海浜鉄道湊線は、存続・発展を願い、さらには湊線を核とした会員と地域住民の交流を通じた地域の活性化を目指す市民団体「おらが湊鉄道応援団」をはじめとした地域住民に支えられています。



おらが湊鉄道応援団



湊線延伸計画進行中!

湊線延伸事業は、終着駅の阿字ヶ浦駅から国営ひたち海浜公園西口付近までの3.1kmを延伸する計画です。令和3年1月に国土交通省から事業許可を取得し、現在は工事に必要な国の認可取得を目指しています。工事は2段階に分け、阿字ヶ浦駅から国営ひたち海浜公園南口付近に設置する新駅までを整備し、先行開業する方針です。

かわいいデザインが人気の駅名標

湊線の各駅に設置されている駅名標は、それぞれの地域を象徴するデザインとなっています。各地域の魅力が一目で伝わるユニークなデザインが話題となり、2015年度グッドデザイン賞を受賞しました。



新名所 ほしいも神社 堀出神社

Hoshiimo Shrine/Horide Shrine

ひたちなかの特産品「ほしいも」にあやかって令和元年に創建された新しい神社。「欲しい物は全て手に入る」というご利益とSNS映える輝く黄金色の鳥居を求める人々で賑わっています。

DESIGN CONCEPT

ひたちなか市商工会議所などで構成された「ほしいも魅力発信プロジェクト」はほしいもの消費拡大や地域資源のブランディングに取り組んでいます。ほしいも神社のコンセプトを作成したのはプロジェクトのディレクションを手掛けるアートディレクターの佐藤卓氏。星にシワをつけた社紋も「干し」と「星」をかけて「ほしいも」を表現した佐藤氏のデザインによるものです。



Gourmet

グルメ・お土産

海の幸、大地の幸を
豊富なアイデアで
美味しく、楽しく
いただいています



伊勢エビ
Spiny Lobster

注目の
美味しさ!

近年、漁獲量が増えている茨城県産の伊勢エビ。ひたちなか市沖での漁も年々盛んになっています。大きいものは体長40cm、重さ1kgを超え、新しい観光資源として注目されています。



一口あわび
Bite-sized Abalone

出荷可能な約7cmの大きさまで育つのおよそ4年。自然に近い環境でじっくり育てた一口あわびは天然あわびに負けない食感と旨みが魅力。刺身や焼き物でぜひご堪能ください。

たこ加工
生産量
日本一



たこ
Octopus

ひたちなか市は、たこ加工生産量日本一を誇るまち。たこしゃぶや刺身などの料理を楽しめるほか、たこのオリジナル商品が盛んに開発されています。

SHIO
—
KAZE

ひたちなか市お土産品開発・磨き上げプロジェクト

SHIO_KAZEプロジェクトとは

「市民自らが自慢できる、市の魅力が伝わる」お土産品を目指して、毎年複数の市内事業者と茨城県内のデザイナーがタッグを組み、商品の開発・磨き上げに取り組んでいます。

- ほしいもピール
- OLABO Q
- 飯場のカステラ
- つまみだこ
- 幸ふくまる
- 美乃浜ふのりかんてん

新ひたちなかみやげ誕生

最新作
第3弾
令和5年度





那珂湊おさかな市場

Nakaminato Fish Market

那珂湊漁港に隣接する那珂湊おさかな市場。観光客に大人気!新鮮な魚介類がリーズナブル。

生産量
日本一



大人気

ほしいも
Dried sweet potato

ひたちなか市は、ほしいも生産量日本一を誇るまち。地元で採れたサツマイモを蒸して、じっくりと天日乾燥させたほしいもは、無添加で子どものおやつにも安心です。品種ごとに異なる味わいや食感を楽しめることも魅力。

ご当地
麺グルメ



那珂湊焼きそば
Nakaminato Yakisoba

もっちりとした食感が魅力の「手延べせいろ蒸し麺」を使用した那珂湊焼きそばは、60年以上に渡り地元で愛され続けてきた、ひたちなか市民のソウルフード。



スタミナラーメン
Stamina ramen

元祖

レバー、カボチャ、ニラ、キャベツなどを使った、具だくさんの甘い餡が特長のスタミナラーメンは、昭和50年代に生まれたご当地ラーメンです。

老舗ほしいも専門店自慢のオリジナルジェラートがシェイクになりました。原料のさつまいもは自社栽培、完全無添加というこだわり。トッピングの芋蜜もちろん自家製。TVでも取り上げられた話題のスイーツは、新しいお芋の美味さを楽しむ逸品です。



ほしいもシェイク
Dried sweet potato Shake

新登場

第2弾

令和4年度

- 焼いも蜜ちゃん
- ACTIVE YOHKAN
- 那珂湊クラフトリキュール
- 干物スティック 鮮彩
- なかみなとマドレーヌ

第1弾

令和3年度

- 那珂湊焼きそば
- ほしいもグラノーラ
- 国産 百花蜜
- 絶品紅 甘熟やきいも
- いもづくしスイーツ
- 磯のひもの
- 二川農園の干し芋
- ニチノウ飛田 極上の干し芋

SHIO_KAZE商品
販売場所紹介

いそぎ温泉 ホテルニュー白亜紀

ひたちなか市磯崎町4604
TEL029-265-7185

JA常陸 長砂直売所

ひたちなか市長砂34-4 (国道245号線沿い)
TEL029-285-0202

※上記のほか、販売元の各店舗、商品によってはスーパーやホテルなどでも販売されている場合があります。

SHIO_KAZE
サイト





#いいとこ発信隊
インスタグラム
フォトコンテスト

絶景フォト 選

Love & Peace

ひたちなかのいいとこ、SNSで発信中！



いいとこ発信隊の公式インスタグラム Love&Peace Hitachinaka Life

いいとこ発信隊インスタグラムフォトコンテスト

ひたちなか市企画調整課といいとこ発信隊が開催するフォトコンテストです。市内で撮影したおいしいお店、まちの風景、子どもたちの笑顔、旬な話題など、ひたちなか市の魅力が伝わる写真を公式インスタグラムで募集しました。応募いただいた数多くの作品の中から、ひたちなか市の魅力あふれる「絶景フォト」を一部ご紹介いたします。

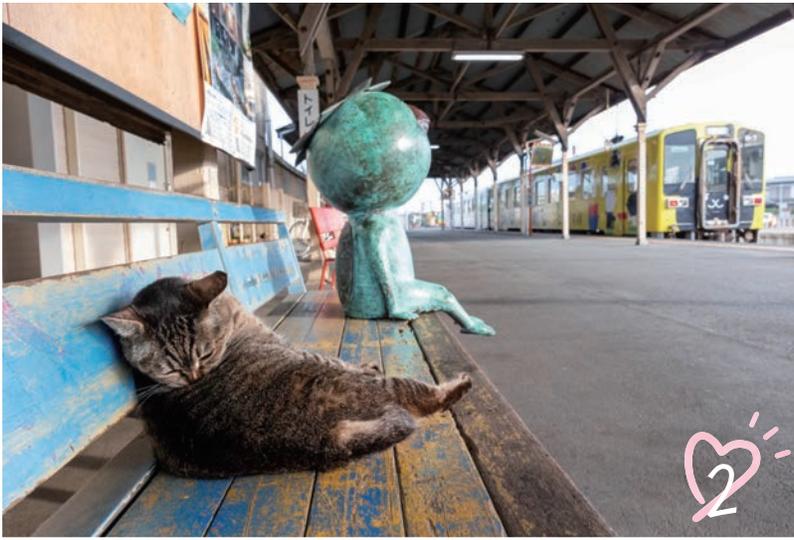


いいとこ発信隊メンバーの投稿も要チェック!▶



国営ひたち海浜公園
moema@takasi.0511様

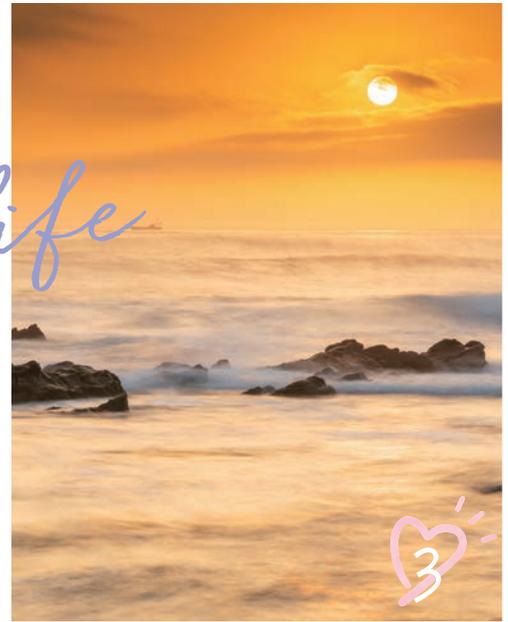
Hitachinaka Life



Good! 那珂湊駅
@keha.601様



Good! ひたちなか
海浜鉄道湊線沿線
@rivers_walker様



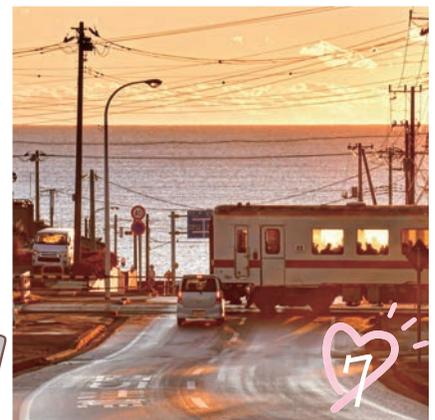
Good! 平磯白亜紀層(中生代白亜紀層)
@ducks.photo様



Good! 酒列磯前神社
blueskyvenus様



Good! ひたちなか地区
多目的広場
_t.tatata_様



Good! 湊線沢メキ踏切
haruonemoto0503様

History

歴史



酒列磯前神社の樹叢 県

社殿に向かう参道は300mに渡り、ヤブツバキとタブノキの木々のトンネルが続きます。

中世・近世

古代



虎塚古墳 国

古墳時代末期の7世紀前半に造られた全長56.5mの前方後円墳。昭和48年に石室内で彩色壁画が発見され、春と秋に一般公開をしています。



古代



四郎介稲荷神社 市

「四郎介さん」と親しまれている神社。拝殿の四方に見事な彫刻が施されています。拝殿の海老虹梁部には躍動感あふれる「昇り籠」と「降り籠」、周りには、4匹の狐の伝説にちなんだであろうと思われる「狐」の彫刻が施されています。



平磯白亜紀層 県

砂岩とシルト岩が互層を呈する約7,500万年前の中生代白亜紀の地層。春から夏にかけては、磯遊び場として家族連れに人気です。

- 国 国指定文化財
- 県 県指定文化財
- 市 市指定文化財

先人たちが築いた 古のロマンにふれる旅



古代

十五郎穴横穴墓群 国

古墳時代末から奈良時代にかけて凝灰岩の崖面をくり抜いて造られた横穴墓群。墓の広がりには約1kmにおよび総数は500基以上であると想定されています。曾我兄弟の十郎・五郎がここに隠れ住んでいたという地元に伝わる伝説から「十五郎穴」と呼ばれるようになりました。横穴墓からは、須恵器、直刀、勾玉、切子玉など多数の副葬品が出土しています。令和5年10月、その歴史的価値の高さが評価され国の史跡として新たに指定されることが決まりました。ひたちなか市では馬渡埴輪製作遺跡（1969年指定）と虎塚古墳（1974年指定）に次いで3例目の国指定史跡となります。



十五郎穴

館出支群I区第35号墓出土刀子 市

古代



乳飲み児を抱く埴輪 県

埋蔵文化財調査センターにて、日本で唯一の「乳飲み児を抱いた埴輪」として展示されています。島田髷（まげ）と呼ばれる髪型や耳飾り、首飾りなど、当時の女性像を伝える貴重な埴輪です。

馬渡埴輪製作遺跡 国

5世紀末から6世紀末にかけて操業されていた埴輪製作遺跡で、現在は公園として整備され、市民に親しまれています。毎年6月中旬には花しょうぶが見頃を迎え、たくさんの人が訪れます。

中世・近世



武田氏館

武田地区は甲斐武田氏の発祥の地。主殿造の母屋、廐、納屋を整備し、母屋には甲斐武田氏発祥関係資料等を展示しています。

旧土肥家住宅 県

江戸時代前期と中期に建てられた東日本で最も古い民家の一つです。もとは茨城県南部の稲敷市にあったもので、平成22年に国営ひたち海浜公園に移築復元されました。

いひんかくあと 夤賓閣跡 市

水戸藩2代藩主徳川光圀公が元禄11年（1698年）に建設した水戸藩の別邸跡です。光圀公や斉昭公など歴代の藩主も訪れ、宴席や詩歌の会が催されました。

水門帰帆 市

水戸藩9代藩主徳川斉昭公が天保4年（1833年）に選んだ水戸八景の一つです。ここからは雄大な太平洋や那珂湊漁港を眺めることができます。



中世・近世

元町みろく

江戸時代元禄年間あたりから天満宮祭礼の御神幸の行列で演じられてきた地方色豊かな芸能。三体のみろく人形が、お囃子に合わせて踊ります。白い顔は住吉、青い顔は春日、赤い顔は鹿島の神と言われ、踊る姿は滑稽で面白いものです。

市民が受け継ぐ 無形民俗文化財の魅力

昭和55年12月には、「記録作成等の措置を講ずべき無形民俗文化財」として国の選択を受けています。



中世・近世

旧會澤家住宅 市

元々は長倉村（現常陸大宮市）に山伏の家として建てられ、3期にわたる増築を経ています。関東地方の民家としては規模が大きい「逆曲り」の大変美しい民家となっています。

中世・近世

那珂湊反射炉跡 県

水戸藩藩主徳川斉昭により、安政4年（1857年）に建設された水戸藩宮大砲鑄造所。元治甲子の乱（1864年）で破壊されてしまいましたが、昭和12年、現在の復元模型が作られました。



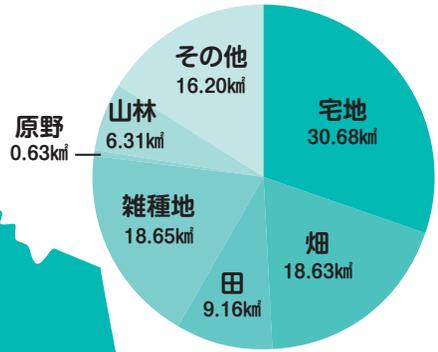
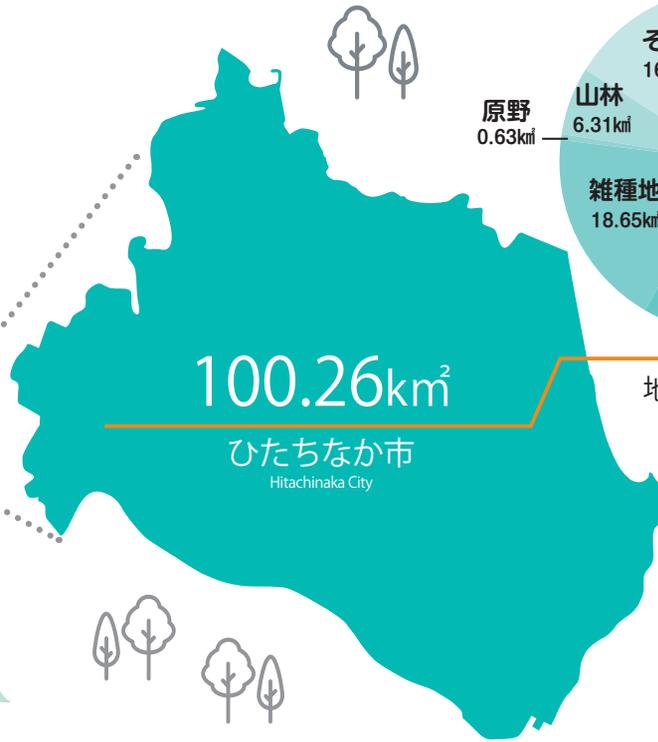


位置
Location

総面積
Total area



茨城県
Ibaraki Prefecture



地目別土地面積

R5.1.1現在 (資産税課)

総人口
Total population

茨城県内 第4位

154,097人

R6.1.1現在 (常住人口調査)

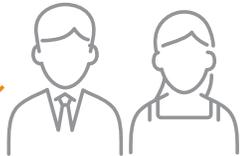
男 77,983人
女 76,114人



**3区分年齢
人口割合**

年少人口(0~14歳)	12.0%
生産年齢人口(15~64歳)	60.9%
老年人口(65歳以上)	27.1%

平均年齢
47.2歳



世帯数

68,612世帯



出生数
Number of births

948人(年間)

R5.1~R5.12(出生届出数)



都市公園数
Number of city parks



茨城県内 第1位

315箇所

R4.3.31現在(公園緑地課)



未来につながる街の活力、暮らしやすさを知ろう



1日平均乗車人員
Average number of passengers per day

JR東日本各駅の乗車人員 2022年度

勝田駅
10,878人/日



財政力指数
Fiscal power index

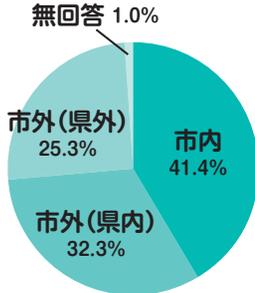
0.905

地方交付税法の規定により算定した基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3カ月間の平均値をいい、地方公共団体の財政力を示す指数として用いられます。

令和5年度(市町村別普通交付税決定額財政力指数一覧)



ひたちなか市民の出身地
Hometown of Hitachinaka citizens



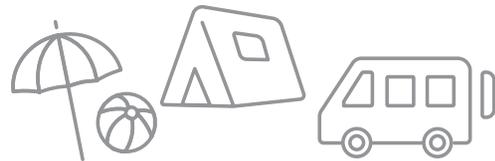
約6割が他市町村からの転入者です。外から来る人に「WELCOME感」のあるまちです。

出典:まちづくりに関する市民意識調査(R1)

観光入込客数
Number of tourists

茨城県内 第2位
3,584,600人

R4.1.1~12.31 (令和4年観光客動態調査報告)



製造品出荷額等
Shipment value of manufactured products, etc.

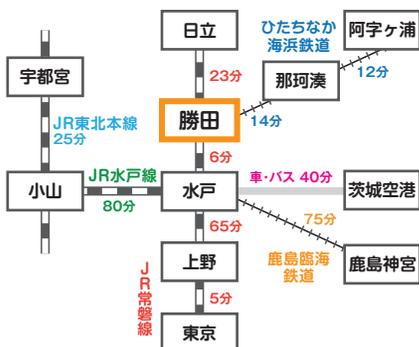
茨城県内 第4位
9,028億2,701万円

R3.6.1 (令和3年経済センサス-活動調査)



アクセス

電車アクセス
Train access



車アクセス
Car access

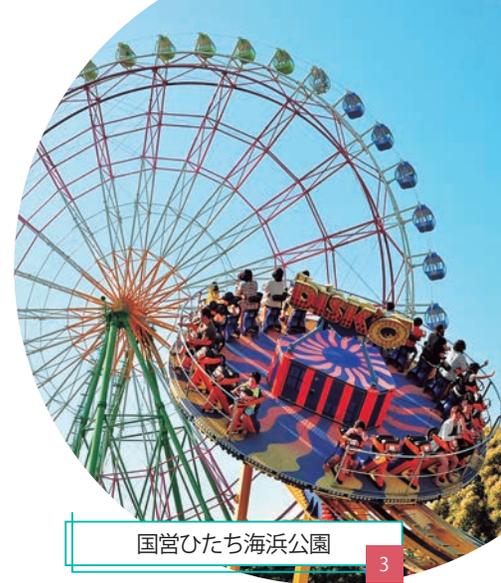


City of Hitachinaka





暮らしに / ひたちなか いいところ MAP



国営ひたち海浜公園

3

ひたちなか市役所



1

ひたちなか市文化会館



2

子育て支援・多世代交流施設 ふあみりこらぼ



4

ひたちなか市総合運動公園



5

茨城港常陸那珂港区



6

那珂湊おさかな市場



7

勝田駅周辺



8

佐和駅



9

いいところ発信隊 おすすめスポット

中根駅の大漁桜 (3月上旬頃)



10

ひたちなか海浜鉄道湊線の春の風物詩といえば、中根駅の大漁桜ですね！

平磯海岸



11

波の音に癒される！青い空と海、夏を感じられるおすすめスポットです！

サザコーヒー



12

いいところ発信隊のミーティングをしたときに食べたカステラケーキ♪がおすすめです。

国営ひたち海浜公園



13

秋にはひたちなか市の木「イチョウ」の黄葉も楽しめます♪

大島公園 (12月上旬頃)



14

白鳥を見ると癒されます。見た人が白鳥の様に穏やかに過ごせますように…



出会った
素敵な場所を
厳選して紹介！

所
所

ひとが咲くまち ひたちなか



ひたちなか市長
大谷 明

ひたちなか市は、海に面し自然環境に恵まれ、多様な産業が発展し、良好な居住環境も広がる魅力にあふれるまちです。

古くからの人々の営みが残り、伝統ある歴史や文化の息づくまちであるとともに、企業城下町として多くの企業が立地し繁栄してきました。このような本市ならではの魅力と価値を活かし、ひたちなか市は成長してまいりました。

「ひとが咲くまち。ひたちなか」というキャッチコピーのとおり、本市に関わるあらゆる方が自分らしい花を咲かせ、いきいきと活躍できる魅力的なまちとなるよう、市政の運営に全力で取り組んでいます。

これまで多くの方が紡いできたまちの価値を守り、私たちの世代で新たな価値を生み出し、育て、しっかりと次の世代へつないでいきたいと思っています。そして、ひたちなか市への誇りや愛着、共感が高まり、市民の皆さまに「住み続けたい」「働き続けたい」と感じてもらえる、市外の方には「行ってみたい」「応援したい」と思ってもらえるまちづくりを進めてまいります。

この要覧により、ひたちなか市の魅力が皆様に伝わり、より身近にひたちなか市を感じていただければ幸いです。

市章



ひたちなか市

市の鳥 うぐいす



春を告げる美しい鳴き声は、未来に発展する本市のイメージにふさわしいと言えます。

市の木 いちょう



紅葉も美しく、どんな環境にも順応でき生命力にあふれる姿は、本市の活力ある発展を象徴するかのようです。

市の花 はまぎく



キク科の多年草。たくましく、気品のあふれる美しさは、緑豊かであり発展する本市を象徴するものです。

姉妹都市

昭和41年に、太平洋沿岸の漁港を有する都市である那珂湊市と石巻市が姉妹都市協定を締結しました。また、平成2年の黒磯市市制施行20周年にあわせ、那珂川に接する都市である那珂湊市と黒磯市が姉妹都市協定を締結しました。那須塩原市となった現在も、変わらない交流が続いています。

宮城県 石巻市



栃木県 那須塩原市



将来都市像 世界とふれあう 自立協働都市

～ 豊かな産業と いきいきとした暮らしが広がる 元気あふれるまち ～

A global city where people collaborate to achieve independence

— A spirited community of abundant industry and vibrant living —

一人ひとりがいきいきと活躍する。温かいつながりと笑顔が生まれる。

「人」が、まちの原動力になる。

ひたちなか市では、そんなかがやく未来の実現に向けて、さまざまな取り組みを進めています。

パパ・ママが楽しく子育てができ、子どもたちがのびのびと成長できるまち。

誰もがいつまでも健やかに住み続けられるまち。暮らしの中に豊かな文化が根づくまち。

伝統が受け継がれ、育まれるまち。多様な産業が発展し、活力あふれるまち。

安全安心な日々を過ごすことのできるまち。

そして、地域で支えあい、助けあう、人と人の絆に結ばれたまち。

自立と協働のもと、今まさに、市民・地域・行政が一体となって、まちづくりが始動しています。

Hitachinaka is a city where each and every individual leads an active life, where there are caring connections and smiling faces, and people become the driving force of the community.

We are promoting a range of initiatives to achieve that kind of bright future, launching urban development through the unified efforts of residents, the region, and government based on independence and collaboration.

自立と協働のまちづくり基本条例

市民が参画して作り上げた、市民、議会、行政が共有するまちづくりのルールです。

Hitachinaka History

明治22 (1889) 年	市制、町村制施行(2町5村誕生)
昭和14 (1939) 年	那珂湊町(湊町)に改称
昭和15 (1940) 年	勝田町誕生(中野村、勝田村、川田村が合併)
昭和29 (1954) 年	那珂湊市誕生(那珂湊町、平磯町、前渡村前浜が合併)
	勝田市誕生(勝田町、佐野村、前渡村の一部が合併)
昭和32 (1957) 年	勝田市三反田の一部那珂湊市へ
昭和48 (1973) 年	水戸対地射撃場の返還
平成6 (1994) 年 11月	ひたちなか市誕生(勝田市、那珂湊市が合併)
平成7 (1995) 年 11月	市章・市の花(はまぎく)
	市の木(いちよう)
	市の鳥(うぐいす)制定
11月	那須塩原市(黒磯市)と姉妹都市協定
平成8 (1996) 年 1月	石巻市と姉妹都市協定
平成9 (1997) 年 11月	人口15万人達成
平成11 (1999) 年 5月	常陸那珂港(現 茨城港常陸那珂港区)に定期航路就航
平成12 (2000) 年 8月	「ROCK IN JAPAN FESTIVAL」初開催
平成14 (2002) 年 7月	勝田駅橋上駅舎化
平成20 (2008) 年 4月	第3セクター「ひたちなか海浜鉄道株式会社」開業
平成22 (2010) 年 4月	「ひたちなか市自立と協働のまちづくり基本条例」施行

平成23 (2011) 年 3月	東日本大震災発生
	北関東自動車道全線開通
平成24 (2012) 年 4月	勝田駅東口再開発事業完了
平成25 (2013) 年 12月	湊線開業100周年
平成26 (2014) 年 11月	ひたちなか市誕生20周年
平成28 (2016) 年 4月	「魚食の普及推進に関する条例」施行
平成29 (2017) 年 9月	日本最大のクルーズ船「飛鳥II」初寄港
10月	子育て支援・多世代交流施設「ふぁみりこらぼ」オープン
平成30 (2018) 年 4月	六ツ野スポーツの杜公園オープン
4月	那珂湊支所新庁舎開所
7月	親水性中央公園オープン
平成31 (2019) 年 4月	外国クルーズ船「セブンシーズマリナー」初寄港
令和元 (2019) 年 9月～	天皇陛下御即位記念第74回国民体育大会
10月	総合開会式、総合閉会式、陸上競技、水泳(競泳)、サッカー、バレーボール開催
令和3 (2021) 年 4月	美乃浜学園開校
令和4 (2022) 年 2月	防災拠点倉庫竣工
	新上坪浄水場竣工
令和6 (2024) 年 11月	ひたちなか市誕生30周年

